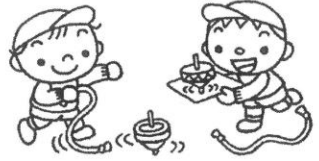




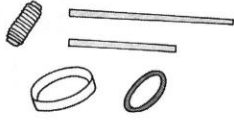
# つくってあそぼう!



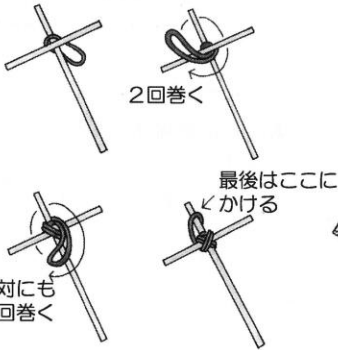
## 《わりばしのけん玉》

材料

- ・割りばし
- ・たこ糸
- ・セロハンテープの芯

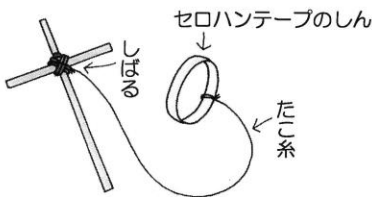


- ①割りばしを2本用意する。
- ②一本を3分の2の長さに切る。
- ③十字になるように、輪ゴムで止める。



(バンドをつけて止めると動かなくなる)

- ④たこ糸(50cmくらい)をセロハンテープのしんにしぼりつけ、反対を十字の部分にしぼりつける。



- あそび方  
けん玉と同じようにやってみよう  
十字の部分にひっかけるとよい。



## 《伝承遊び編》

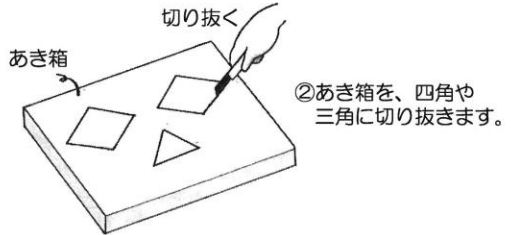
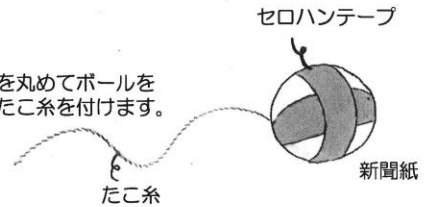
羽子つき、コマ回し、凧揚げ、福笑い、めんこ、けん玉、おはじき、あやとり、折り紙、竹馬、はないちもんめ…などなど。  
地方によって伝承遊びの遊び方や種類は異なるものの、子ども達が楽しく遊びながら今に受け継がれてきた日本古来の遊びの数々。  
今回は、身近にある物を材料にして、つくって遊べる伝承遊びです。  
親子でつくって遊んでみて下さいね。

## 《あき箱けん玉》

四角に入るか?  
三角に入るか?

- 材料
- ・あき箱
  - ・たこ糸
  - ・新聞紙

- ①新聞紙を丸めてボールを作り、たこ糸を付けます。

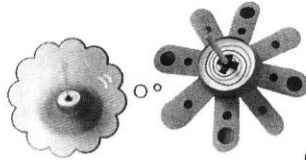


- あそび方  
新聞紙のボールを、あき箱の穴に入れてあそびます。

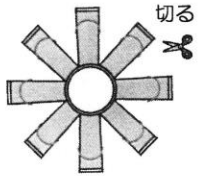


## 《お花の両手ごま》

材料 ・紙コップ  
・割りばし

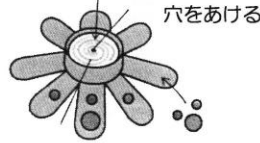
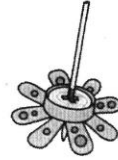


両手で回すタイプのこまです。  
花びらの模様の変化も楽しいですよ。

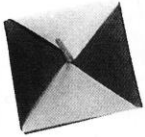


差し込み、表裏ともビニールテープで留める

割りばし  
先を鉛筆削りで割る  
(安全性のため先は1~2mm切っておく)



☆まわし方のコツ  
両手のひらをピンと伸ばして割りばしを挟みます。  
勢いよくこすり合わせるとよく回りますよ。

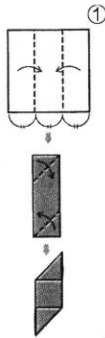
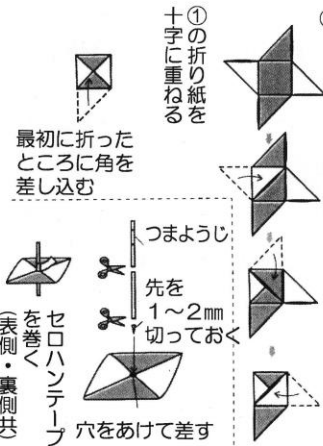


丸シールをはる

☆お花の高さを低めにすると安定します。

## 《折り紙ごま》

2枚の折り紙を組み合わせた、小型のこまです。指先でつまんで回しましょう。



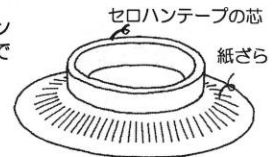
もう一枚違う色の色紙で折る

## 《回しごま》

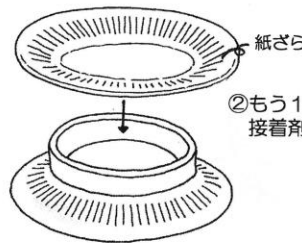
材料  
・紙ざら (2枚)  
・割りばし  
・セロハンテープの芯  
・たこ糸



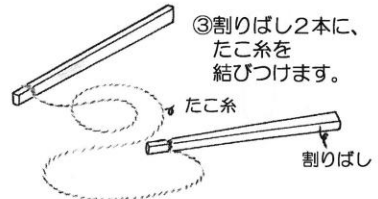
①紙ざらの裏に、セロハンテープの芯を、接着剤ではり付けます。



②もう1枚の紙ざらも接着剤ではり付けます。



③割りばし2本に、たこ糸を結びつけます。



●あそび方  
両手を交互に上げたり下げたりして、さらを回してあそびます。

〈さらの中央を見つけることが大切〉

九州の、ちゃんげこまとして有名な回し方です。じょうずな人は、どんぶりのふたでも回してしまいます。ここでは、紙ざらにセロハンテープのしんをはりつけるときの中央がずれると、できあがったこまの回り方が、調子が出ません。同心円の模様やしりふのあるものなら、それに合わせられますが、何も印のないときはどうしましょうか？さあ、子どもと一緒に考えてみましょう。

